松戸市教育委員会会議録

令和6年5月定例会

松戸市教育委員会会議録

令和6年5月定例会

開 会	令和6年5月15日(水) 午前9時30分	閉 会	令和6年5月15日(水) 午前10時58分	
署名委員	教育長 波田 寿一	委 員	武田 司	
出席委員 氏 名	教育長 波田 寿一	○	委 員 山形 照恵	○
	教育長職務代理者 武田 司	○	委 員 中西 茂	○
	委 員 伊藤 誠	○	委 員 和座 一弘	○
出席職員	内訳別紙のとおり			

提出議案	内訳別紙のとおり
特記事項	

教育委員会事務局出席職員一覧表

令和6年5月定例教育委員会

No.	部課名 及び 職制名	氏 名	No.	部課名 及び職制名	氏 名
1	文化スポーツ部 部長	藤谷 隆	21	学校施設課 主査	藤井 大介
2	生涯学習部 部長	井之浦 太郎	22	教育政策研究課 課長	秋田 敦子
3	学校教育部 部長	中坂 正夫	23	〃 主任主事	金子 悟
4	生涯学習部 審議監	小林 清	24	〃 主任主事	伏見 春花
5	学校教育部 審議監	町山 信之	25	文化スポーツ政策課 課長	安部 豪
6	教育総務課 課長	三根 秀洋	26	〃 補佐	東海林 理江
7	〃 専門監	斉藤 政彦	27	児童生徒課 課長	志村 雅人
8	〃 補佐	飯島 幸枝	28	〃 補佐	佐々木 亮
9	〃 主査	吉川 紘司	29	学務課 課長	西田 大助
10	〃 主任主事	山本 真優子	30	〃 補佐	泉 あや子
11	文化財保存活用課 課長	渡辺 貴生	31		
12	〃 補佐	大西 真	32		
13	社会教育課 課長	関根 嗣人	33		
14	〃 主査	岩間 拓郎	34		
15	学習指導課 課長	千葉 貴子	35		
16	〃 補佐	高橋 宏樹	36		
17	〃 補佐	藤ヶ崎 朋子	37		
18	学校施設課 課長	久保田 昭彦	38		
19	〃 補佐	永澤 郁雄	39		
20	〃 補佐	栗山 誠	40		

令和6年5月定例教育委員会会議次第

1 日 時 令和6年5月15日(水) 午前9時30分より

2 場 所 教育委員会5階会議室

3 議 題
議 案

4 その他

令和6年5月定例教育委員会会議 議題目次

(1) 議案

① 議案第 3号

松戸市文化財審議会委員の委嘱について

(文化財保存活用課)

② 議案第 4号

松戸市社会教育委員の委嘱について

(社会教育課)

③ 議案第 5号

松戸市教育支援委員会委員の委嘱について

(学習指導課)

④ 議案第 6号

令和7年度に使用する松戸市教科用図書の
採択に関する方針について

(学習指導課)

⑤ 議案第 7号

契約の変更について

(学校施設課)

⑥ 議案第 8号

令和6年(ネ)第1709号損害賠償請求
控訴事件に係る代理人の選任について

(児童生徒課)

⑦ 報告第 3号

臨時代理による処分の報告について

(学務課)

教育長 では、初めに傍聴についてご報告いたします。

本日の教育委員会会議には、現在3名の方から傍聴したい旨の申出がございます。松戸市教育委員会傍聴人規則に基づき、これをお認めいたしますので、ご了承願います。

なお、これ以降、傍聴の申出がある場合は、事務局への受付をもって許可に代えることといたします。

それでは、傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入室)

◎開 会

教育長 それでは、ただいまから令和6年5月定例教育委員会会議を開催いたします。

◎会議録署名委員の指名

教育長 開会に当たり、本日の会議録署名人を武田委員にお願いいたします。

◎議案の提出

教育長 それでは、日程に従いまして議事を進めます。

本日の議題は、議案6件、報告1件となっております。このうち議案第8号及び報告第3号は個人情報に関わる案件となります。したがって、この審議を秘密会としてはいかがか、お諮りいたします。

それでは、松戸市教育委員会会議規則第13条の規定により決を採らせていただきます。

この後行われます教育委員会会議のうち、議案第8号及び報告第3号の審議を秘密会とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議ないものと認め、議案第8号及び報告第3号の審議は秘密会といたします。

次に、日程の変更についてお諮りいたします。

ただいまの決定のとおり、議案第8号及び報告第3号は秘密会にて審議することとなりました。そのため、松戸市教育委員会会議規則第9条の規定により、議事の日程の順序を変更

することとし、その他につきましては、秘密会とした議案の前に審議したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議ないものと認め、その他につきましては、秘密会とした議案の前に行うことと決定いたしました。

では、ここからの議事進行は、武田教育長職務代理者をお願いいたします。

◎議案第3号

教育長職務代理者 それでは、日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

初めに、議案第3号「松戸市文化財審議会委員の委嘱について」を議題といたします。

それでは、ご説明をお願いいたします。

文化財保存活用課長、お願いします。

文化財保存活用課長 おはようございます。文化財保存活用課長の渡辺でございます。よろしくをお願いいたします。

それでは1ページ、議案第3号「松戸市文化財審議会委員の委嘱について」ご説明いたします。

本案は、松戸市文化財審議会委員の任期が令和6年5月31日をもって満了となるため、松戸市文化財の保護に関する条例第25条第2項の規定に基づき、2ページに添付してあります松戸市文化財審議会委員委嘱者のおり7名を再任するものでございます。

任期につきましては、同条例の第25条第3項の規定に基づき令和6年6月1日から令和8年5月31日までの2年間となります。

以上、ご説明とさせていただきます。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

教育長職務代理者 議案第3号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

伊藤委員。

伊藤委員 せっかくの機会ですので、文化財について教えて下さい。前にも似たようなことお聞きしたかもしれませんが、文化財で指定文化財と言われるものが、それぞれ国指定と、あるいは県の指定、それから市の指定というふうに幾つかあると思うんですが、指定文化財の市の指定のものと県の指定のもの、あるいは国の指定のものとの、その関係ですよ、どの

ような違いがあるのか。それで、その今回の文化財審議会というのは、市の指定文化財だけを対象にしておられるのか、あるいはその市の指定から県の指定に移るといったようなこともあるのかどうかとか、その辺のところ、ちょっと教えて下さい。

教育長職務代理者 審議会を通して、県指定とかそういう、松戸市の指定以外のところに関わることがあるかどうかというご質問だと思います。

文化財保存活用課長、お願いします。

文化財保存活用課長 こちらの委員会での審議につきましては、基本的には市の指定について、限ってご審議いただくこととなっております。なので、県の指定との関係性というのは、そこでは存在しないというか。

伊藤委員 そうしますと、その市の指定と県の指定、あるいはその国の指定との、いわゆるその違い。つまり、市の指定から県の指定に移るといったことはあるんですか。

文化財保存活用課長 ございません。

伊藤委員 ない。その違いは何ですか。

教育長職務代理者 文化財保存活用課長、お願いします。

文化財保存活用課長 基本的に、その上申というようなものはあると思いますけども、この審議会の審議に限ってはあくまで市の指定をとということで、限ってご審議いただくものになります。

伊藤委員 いや、ちょっとその辺のところの違いが分からないんですが、その価値とか、そういったものをいろいろ議論した結果、市の指定ではあるけれども、今後、県の指定、あるいはもっと、場合によっては国の指定とか、そういうふうに格上げと言ったらあれですけども、何かそういうふうにしたほうがいいんじゃないかとか、その基準がちょっと分からないので何とも言えないんですが、何かその価値がさらに高まることによって県の指定にするとかいうようなことがあり得るのかなと思ったものですから。

そういうことに、今回の審議会が何か役割を果たしておられるのか。その辺のところはあまり経験というか、そういう議論になったことはないんですか。

文化財保存活用課長 そうですね。ちょっと直近の審議の中ではございません。

伊藤委員 分かりました。はい、結構です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

全員再任ということで、前回も、2年前になるんですかね、お伝えしたかと思うんですが、本当にいい人選で、松戸市の指定文化財について網羅しているようにお見受けして、また続

けて引き受けていただけることに感謝申し上げたいと思います。

ほかに、ご意見ございますか。よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ないようですので、これをもちまして質疑及び討論は終結といたします。

これより議案第3号を採決いたします。議案第3号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第3号は原案どおり決定いたしました。

説明者が入れ替わります。

(説明員入替え)

◎議案第4号

教育長職務代理者 次に、議案第4号「松戸市社会教育委員の委嘱について」を議題といたします。

それでは、ご説明お願いいたします。

社会教育課長、お願いします。

社会教育課長 社会教育課の関根でございます。よろしくお願いいたします。

議案第4号「松戸市社会教育委員の委嘱について」ご説明いたします。

提案理由は、現在の委員の任期が令和6年5月31日をもって満了することから、社会教育委員設置条例第2条の規定に基づき委員を委嘱するためでございます。

社会教育委員の職務は、社会教育法の規定において、社会教育に関して教育委員会に助言をすることとされております。過去2年間の会議では、主に令和5年3月の第2次松戸市社会教育計画の策定に当たりご意見をいただくとともに、同計画に基づいた関係各課の諸事業についての報告や社会教育関係団体への補助金交付に関してご意見をいただいております。

次期の社会教育委員ですが、4ページの名簿に記載のとおり、10名の方に委員をお願いしたいと考えてございます。

任期は令和6年6月1日から令和8年5月31日までの2年間でございます。

名簿のうち4番目の伊藤隆志氏、8番目の桜井淳平氏の2名が新任でございます。

新任の委員につきまして、簡単にご紹介させていただきます。

4番目の伊藤隆志氏でございますが、元松戸市監査委員事務局長であり、本年6月には松戸市国際交流協会常任理事に就任される予定であることから、これまでのご経験を生かし、国際交流や多文化共生の観点からお力添えいただきたいと考えております。

次に、8番目の桜井淳平氏でございますが、教育社会学をご専門にされ、現在は流通経済大学共創社会学部の准教授でございます。また、子どもの安全についての研究などで博士号をお持ちであります。学校や家庭における教育から地域や社会における教育まで幅広い知見からお力添えいただきたいと考えております。

そのほか再任の8名の方につきましては、引き続き松戸市の社会教育行政にご尽力いただけるものと考えております。

説明は以上となります。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

教育長職務代理者 議案第4号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

和座委員。

和座委員 やはり同じように、この機会なので少しお話を聞かせていただきたいと思うんですけども、委員の方たちは、大体年に何回ぐらい委員会を開いていただいている、例えば、具体的にどういった話題で議論をし、特に最近になって注目してるというか、話題になっているようなことはございますでしょうか。

教育長職務代理者 社会教育課長、お願いいたします。

社会教育課長 ただいまいただきましたご質問につきまして、昨年度の例を申し上げますと、令和5年度は2回実施いたしました。まず、1回目は7月12日に行いましたが、この中の議題といたしましては、まず、報告事項2点といたしまして、生涯学習に関係する部署の出席を求めて、1点が文化スポーツ行政の在り方の検討ということで、今年度、文化スポーツ部が新設されましたが、それに向けての意見聴取ということで報告がありました。報告事項の2点目といたしましては、昨年度、文化庁長官の認定を受けました松戸市文化財保存活用地域計画についての策定経過の報告をいただきました。

あと、1回目の会議での議事といたしましては、これは社会教育委員さんがぜひ聞かせていただきたいということで、社会教育関係団体に対する補助金を交付している団体との意見交換を行いまして、1回目のときには松戸市少年少女発明クラブと松戸市スカウト連絡協議会の2団体にご出席をいただきました。

そして第2回の会議は3月26日に行いましたが、このときの議事は同じく社会教育関係団

体に対する補助金と、その交付を受けている団体との意見交換ということで、松戸史談会にご出席いただきまして意見交換をしたところでございます。

交付団体としては、主に6団体ありますけれども、昨年度3つの団体の意見交換を行いましたので、今年度以降、また会議のたびにほかの団体さんをお呼びして、社会教育委員さんとの意見交換を行いたいと考えております。

以上でございます。

和座委員 詳しくありがとうございます。その中で、文化スポーツ部に関しての報告の話があったんですけども、そこではどういった、例えば議論というか意見があったか、何か具体的なものがあれば、ちょっと教えていただければありがたいんですけども。

教育長職務代理者 社会教育課長、お願いします。

社会教育課長 ただいまの質問ですが、1回目の会議が7月に行われたということで、まだ具体的な方向性が定まっていない中で、それまでの検討の経過報告を、スポーツ課のほうからしたと伺っております。

和座委員 ああ、なるほど。じゃあその中で、いろいろとその方向性に関しての意見というか、そういったものは特にはなかったということですね。

社会教育課長 はい。

和座委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長職務代理者 ほか、ございますか。よろしいですか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ほかにないようですので、これをもちまして質疑及び討論は終結といたします。

これより議案第4号を採決いたします。

議案第4号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第4号は原案どおり決定いたしました。説明者が入れ替わります。

(説明員入替え)

◎議案第5号

教育長職務代理者 次に、議案第5号「松戸市教育支援委員会委員の委嘱について」を議題といたします。

それでは、ご説明お願いいたします。

学習指導課長、お願いします。

学習指導課長 議案第5号「松戸市教育支援委員会委員の委嘱について」ご説明いたします。

教育支援委員会は、障がいのある児童・生徒等の就学や教育的支援に関する事項について審議を行っており、各委員さんには、それぞれの専門的な知見により指導・助言をいただいております。

今回の提案理由につきましては、松戸市教育支援委員会条例第3条に規定されている委員に人事異動に伴う欠員が生じたため、第4条の規定により、新たな委員の委嘱をお諮りするものでございます。

6ページ、委員委嘱者の一覧をご覧ください。

新委員のみご紹介いたします。

まず1号委員、教育委員会事務局職員として、泉あや子学務課長補佐、2号委員、特別支援学級設置校の校長、副校長、または教頭として、久須崇行松戸市立第一中学校副校長、4号委員、医師として、前田浩利医師、5号委員、学識経験を有する者として、松浦雅子県立矢切特別支援学校校長、6号委員、児童福祉施設職員として、加藤大輔柏児童相談所診断指導課長。

以上、5名の方に新たにお問い合わせするものでございます。

新委員の任期は、前任者の残任期間となりますので、令和7年5月31日までの1年間でございます。

以上です。ご審議よろしくをお願いいたします。

教育長職務代理者 議案第5号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

山形委員。

山形委員 山形です。

確認になりますけれども、この支援委員会の年間の回数と、あと対象になる児童・生徒さんの数のほうを教えてください。

教育長職務代理者 学習指導課長、お願いいたします。

学習指導課長 教育支援委員会の回数ですが、年間に10回を予定しております。

対象児童・生徒は昨年度のデータでは、333件の審議を行っていただきました。

山形委員 ありがとうございます。

今、課長が10件の予定という言葉があったんですけども、もしかして回数が増えたりとか、もしくはその辺が前後するような形なんでしょうか。例えば学期とかで決まってやっているのか。一番は、就学のところが一番多いと思うんですけども、臨時に行われるようなこととかはあるのでしょうか。

教育長職務代理者 学習指導課長、お願いいたします。

学習指導課長 たくさんの方たちがお見えになるので、支援委員会は10回で、そのほか必要な場合は、本課内で審議をすることもございます。

山形委員 ありがとうございます。

333名の生徒さんを10回、換算するだけで、単純に割り算をすれば1回の会議で30名以上のお子さんの検討をしていくというところで、本当にプロフェッショナルな方たちがいる中で、本当に大変な会議だと思いますが、生徒さん自身の個別の対応とか、個性を伸ばすというところではサポートが必要な部分なので、引き続きお願いいたします。

教育長職務代理者 ほか、ございますか。よろしいですか。

教育長。

教育長 これだけの委員の皆さん、それから回数、対象となる児童・生徒の件数等を今、お話をくださいますと、ぜひ教育委員の皆さんにも特別支援教育そのものの大切さ、重要性という部分、再認識していただけたんじゃないかなというふうに思っています。

松戸市の子どもたちの中には、一定数、こういった支援が必要な子どもたちがいるということ、こういう機会を通じて皆さんで共有していければなというふうに思っています。

新たに委員になられる皆さん、先ほどの社会教育のところでも申し上げようかなと思ったんですけども、新たに委員になられる皆さんには多く期待を、すごく期待をしているところでございます。そういった状況を見据えながら、また皆さんにも様々なご支援をいただきたいなというふうに改めて感じたところでございます。

以上です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

和座委員。

和座委員 ちょっと情報提供というか、補足ですけども、私、この前田先生のことよく存じ上げておりますので、ちょっとご紹介申し上げたいと思います。

前田先生は小児の在宅ということで、様々な子どもに対しての、主に在宅医療を中心にやっていた方です。その意味では、全国的にも有名な方で、フロンティアですね。様々な形で政府のほうにも在宅の小児の医療に関して政策提言を何回かなさっていて、彼が話した内容で実現した、そういった施策なんかも幾つかあったようです。

そのぐらいしっかりと色々な形で発信していますし、それからホームページなんかを見ますと、本当にいろんなところで講演会をしております。非常に見識の深い方なので、僕も、実は彼と一緒に仕事をしまして、医師会で小児救急の、今、体制が松戸市は比較的しっかりとしたものがありましたけれども、彼に実行委員長をやっていただいて、それで一緒にやった期間もございました。

非常にバランスの取れた方なので、そういう意味でも前田先生に、ぜひ期待したいというふうに思っております。

以上です。

教育長職務代理者 心強いお言葉を聞いて、うれしく思います。ありがとうございます。

ほか、ございますか。よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 それではないようですので、これをもちまして質疑及び討論は終結といたします。

議案第5号について採決をいたします。

議案第5号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第5号は原案どおり決定いたしました。

◎議案第6号

教育長職務代理者 次に、議案第6号「令和7年度に使用する松戸市教科用図書の採択に関する方針について」を議題といたします。

それでは、ご説明お願いいたします。

学習指導課長、お願いします。

学習指導課長 議案第6号「令和7年度に使用する松戸市教科用図書の採択に関する方針について」ご説明いたします。

提案理由につきましては、記載のとおりでございます。今年度は令和7年度から使用される中学校教科用図書の新たな採択年度となります。

小学校教科用図書は、昨年度が採択年度であったため、令和6年度は義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条により、4年間同一の教科用図書を採択する年度となっております。また、学校教育法の附則第9条に規定する特別支援学級で使用される教科書につきましては、検定教科書の規定から除かれるため、毎年採択することとなります。

以上を踏まえまして、令和7年度使用教科用図書の採択を実施するために、採択地区協議会規約及び採択に関する一般方針についてご承認いただくものでございます。

この目的につきましては、法に基づき松戸市教育委員会が令和7年度に松戸市立小中学校で使用する教科用図書を適正に採択することでございます。

2、採択の基本方針でございますが、法に従いまして、東葛飾西部採択地区内にある市と協議の上、種目ごとに同一のものを採択するものといたします。

3、協議会規約の順守でございますが、協議会規約については記載のとおりでございます。なお、令和6年度の協議会事務局は松戸市になります。

4、協議会の委員については、記載のとおりでございます。

5、候補図書の講評ですが、各委員が推薦した候補図書についての講評はしないものといたします。

6、採択図書の決定につきましては、協議会が種目ごとに選定した教科用図書については、松戸市教育委員会会議でこれを採択いたします。

7、情報開示につきましては、記載のとおりでございます。

なお、松戸市教科用図書選定の基本的な観点につきましては、9ページですが、1が「新しい学習指導要領」となっておりますが、失礼いたしました、「新しい」を削除していただいて、「学習指導要領への対応」が3項目、内容についてが4項目、造本等についてが2項目。

以上、令和7年度に使用する松戸市教科用図書の採択に関する方針について、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

教育長職務代理者 議案第6号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

今年度は、デジタル教科書に対する部分というのはどういうふうな扱いになりますでしょ

うか。

学習指導課長、お願いいたします。

学習指導課長 中学校の英語については審議を行います。

教育長職務代理者 それ以外は参考レベル。

ほか、ございますか。

教育長、お願いします。

教育長 では、1点だけ、少し述べさせていただきます。

今、学習指導課長の説明にございましたように、「新しい」というものを外してと。そのとおりですね、学習指導要領が現行のものになってから、もう5年たっていますので。逆に言うと、もう既に水面下では、次の学習指導要領の策定に向けて文部科学省等では動き出しているというふうに感じているところでございます。

「主体的・対話的で深い学び」というところが大きなキーワードとなって、それに基づいた教科書が、各教科書出版等の会社からしっかり検討された中で進んでいるなということも感じていますので、ぜひ、最終的にはこの教育委員会会議の席上で令和7年度に使用する教科用図書、いわゆる教科書を採択していくわけでございますので、この後、実際には西部採択地区の協議会の中で十分な審議を得て、私たち松戸市からもその委員として参加させていただきますので、その分、しっかり意見交換をしながら、最終的にこの場で皆さんにご審議いただくという流れでございますので。

今回、幾つか提案されている方針等ですね、改めてそれぞれの立場で確認をしながら、きちんとした意見を持ちながら進めていきたいなと私自身も思っておりますので、ぜひ皆さんもよろしくお願ひしたいというふうに思います。

以上でございます。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

和座委員。

和座委員 1つ、私の個人的な考えなんですけれども、ここには書かれてないんですけれども、やっぱり教科書も時代の背景の中で考え方というのも変わってきてる部分、社会的ないろんな様々なものについての認識が表現される必要があるんじゃないかと僕は思っています。

例えば具体的に挙げれば、いわゆる多様性ということについて議論があるんですけども、LGBTみたいなものも含めて、私が少なくともちょっと今まで教科書見た限りでは、非常にその男女のことについてしっかりと書かれていて、男の子はこうだ、女の子はこうだ。

お互いに、こういった性的な様々な特徴が出てきますよと。だけどそれは多様性があるから、そんなに、みんなで見ていきましょうねみたいな話になるんだけども。

やはりその中に、多分その男女間だけではなくて、そういった性の多様性というのも社会的な部分としてありますよね。だからそこら辺のところ、子どもさんの、まだ全然全くそういったことも意識しないような状況の中で、どの程度話すかというのは非常に難しいんですけども、そういったものも背景にしながら、やはりできるだけ多様性ということに重点を置いたときに、今までの価値観だけではなくて、幅広い見方というものが教科書の中に反映されてくるといいなというふうに思います。

それについての記載、あまりちょっとこのところには見られないのはちょっと残念な感じもするんですけども、そういった観点でまた見られるといいのかなとも思ったりもします。これは僕の個人的な見解です。

はい、失礼しました。

教育長職務代理者 ご意見ありがとうございます。

教育長。

教育長 本当に今、和座委員さんおっしゃってくださったとおりで、私たち自身が最終的に採択をしていかなければいけませんので、一つ一つの科目の、教科書はしっかり勉強していかなければいけないかなというふうに思っていますので。これからそんなに多くの時間があるわけではないんですけども、皆さんと一緒に、私もしっかり勉強していきたいなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

教育長職務代理者 伊藤委員。

伊藤委員 その関連で、私もこれまで幾つか経験したんですけども、教科書の選定というのは何年に一度かやるわけですが、現在使っている教科書は、学習指導要領が現行のものになってから採択されて、先生方も慣れているし、恐らくよほど問題がなければ、苦情も出ないし、ちゃんと使われてるのかな、という状況にあるわけですよね。それを、今年、全部ほかの候補の本も見て、比較検討してやるんですけども、そのときに、現状の本を変更するかどうかという決断というか、この選定した議論の中で変えるというのは、もう相当な勇気が要ることなんですよ。

ですからその、変えるための1つの基準として、現在の教科書が、ほかの教科書と比べてこの観点で、こっちのほうがいいんだ、あるいは新しいほうがいいんだというような認識というのは、もちろんそれに向けてそういうことができるように勉強していくんだらうと思う

んですけども、なかなか難しいと思います。しかも見るチャンスというのは、もちろん閲覧できるので見に行くんですけど、なかなかそこで、仮に1時間、2時間見てもなかなか難しいので、ついつい、恐らくほかの先生方も、あるいは委員の方も、まあ現状維持というか、現在使われてるんならそれでいいんじゃないかと。特に問題もないしということで、決めるという傾向があったんだと思うんですよ。

ところが最近、例えば去年の小学校の選定では、数冊変更したんですよ。だからそれはなかなか勇気が要ることだと思います。やっぱり先生や生徒にもある程度、戸惑いがあると思うので。それを乗り越えても変えたほうがいいんだというような覚悟を持ってやれるかどうかというのは、非常に難しいのかなというふうに思っています。なかなかこの選定は、そう容易ではないのかなと。

したがって、やっぱりそれに向けて相当な読み込みなり勉強をしていかなきゃいけないと思います。そして新しいものが良ければそれに変えていくという勇気も必要なのかなというふうに感じています。

ですので、最終的に教育委員会で選定するときに、そのときには、もうその西部採択委員会で選定されてはいますけども、それを変えるということも不可能じゃないと思うので。皆さん、選定委員にならなかった方も含めて、しっかり勉強していただきたいなというふうに思っています。

教育長職務代理者 傍聴に来られている方とかは、恐らくこの会議での採択のみで決まっているように感じることも誤解としてあるかと思うんですが、かなり議論を重ねる部分もありますし、まずその前に指導課さんはじめ各学校の教科の先生方にすごく骨を折っていただいて、私たちが理解しやすいようにというような、いろんなご説明の文面をいただいたり、比較対象の仕方みたいなものを、勉強会という形でいただいたりしております。

ただ、何年かこういうタイミングを経験させていただく中で、1つの私の意見としては、すごく全面的にいいところだけをピックアップするというのは、気持ちとして理解できるのですが、現状使っている教科書に対しては、今の伊藤委員のご意見にもつながることと思うんですが、使いづらさとか難しさとか、そういった非の部分のご意見というのも、もしあるならば、何が使いづらさにつながっていたのかみたいなの、あるいは、先生たちが使いやすくても理解が得られにくかったとか、児童生徒の感想的なものも含め、やはり検討材料として教科書を見る以外の、何か選択要因となるようなものも少しお伝えいただけるとありがたいなというふうに、ここ最近を感じております。

すごく面倒の多い作業なのでどこまで酌み取っていただけるのか、あるいは現実的な作業なのかというのは疑問に思うところもあるのですが、現場のご意見等は知りたいところだなと思っております。意見です。

伊藤委員 すみません、その追加で。確かに造本とか印刷の製本、扱いやすさとか、上下に分かれてるとかは、それは客観的に分かるので、そのいいか悪いかというのはそれなりに分かりやすいのですが、内容についてはなかなか分かりにくいと思います。そのために専門調査員の方が数名任命されて、かなり専門的に読み込んでいただいてコメントいただくんですけども、何かそのコメントがいつも、今、お話があったように、何か良いところしか言わないような感じになっているので。なかなか悪いところというのは言いにくいのかもかもしれませんけれども、こういったところが気になったとか、こういったところは場合によってはほかと比べてもちょっとどうか、とかというような、そういうネガティブな意見も専門調査員の方になるべくつけていただけるような形で、ちょっと指導していただければなというふうに思いました。

教育長職務代理者 山形委員。

山形委員 追加で意見と。今の武田委員と伊藤委員のところの延長にはなると思うんですけども。

例えば以前、道徳の教科書を採択するときに、同じテーマのものが重なっていて、それを比較したときなんかはすごく分かりやすかったなと思ったので。例えばこの1つの事象の、必ず決まった必須事項とか、これをどのように取り扱っているかという比較だと、その教科書会社のスタンスとか、何を大切にしているのかなというところが、教育畑にいない者が教科書を見ていく中での比較検証の中には分かりやすくなるのかなと、ふと思いました。

それとあと別件、先ほど和座委員が言ったLGBTに関する配慮のところなんですけれども、実を言うと小学校に入る前に性別違和、以前は性同一性障害なんて言われてましたけれども、性別違和ですね、体と心の不一致を感じている子どもたちというのは、実は小学校に入る前の段階で、その症状がある方たちというのが5割ぐらい感じてらっしゃるそうなんです。なので、学校に入ったときに、突然男女に急に分けられたりとか、着替え等とか、いろいろな配慮はありますけれども、その部分で自分が受け入れてもらっていないとか、そういう部分で学校に行きづらくなるというのも少しのデータの中ではあったりするので、そういう観点も、教科書や学校の中での雰囲気づくり、あるいはジェンダーに関しても、いまだにやはりいろんな部分で、大人が見るものはもちろんそうですけれども、バイアスがかかってい

るものは結構、色とか絵とか、そういうのはすごくあるなと思ったりはするので。

でも、年々教科書の中でもニュートラルな表現のものだったりとか、あと外国籍のお子さんも増えているので、教科書の何かの表紙にも外国籍のお子さんがいたりとか、そういう配慮はたくさんできている部分があるとは思いますが、そういう部分の観点も教えていただけたらすると、私たちが見落としてしまっているような配慮が分かったりすると選定の中にも参考にもなるのかなと思いました。

以上です。

教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 それではないようですので。

以上、いろんなことを申し上げましたが、どうぞよろしく願いいたします。

それでは議案第6号について採決いたします。

議案第6号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第6号は原案どおり決定いたしました。

説明者が入れ替わります。

(説明員入替え)

◎議案第7号

教育長職務代理者 次に、議案第7号「契約の変更について」を議題といたします。

それでは、ご説明お願いいたします。

学校施設課長、お願いいたします。

学校施設課長 それでは、議案書14ページ、議案第7号「契約の変更について」説明させていただきます。

本件は令和5年松戸市議会6月定例会議案第11号をもって議決されました松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業の契約につきまして、次のとおりに契約の変更を6月定例会議に議案として提出するよう市長に申し出るものでございます。

契約の変更は、契約金額といたしまして、1、変更前の契約金額は48億511万8,105円。2、変更後の契約金額は49億8,670万2,915円。3、変更による増額分は1億8,158万4,810円とな

るものでございます。

次に、提案理由といたしましては、整備対象教室の増加に伴う空調設備の維持管理費用が増額したため、契約変更を締結するものでございます。

15ページの参考資料に沿って説明いたします。

事業名称等につきましては記載のとおりでございます。

3の整備対象教室につきましては、548室増加することにより2,097室に変更するものでございます。

この提案理由の内容を、お手元の別添資料に基づき説明させていただきます。

上の表は、これまでの契約の経緯をまとめたものでございます。

表の上から2行目、1の当初契約から9の契約変更まで、松戸市教育委員会会議での議案審議及び採決を受け、市議会本会議での議決を得た後、契約の締結を行ってまいりました。

次に、下段に参考といたしまして令和5年度に全小中学校特別教室等538室と中学校食堂・ランチルームを増設整備した内容を記載しております。増設した特別教室は理科室、家庭科室、調理室、被服室、図工室、美術室、木工室、金工室、音楽室、コンピューター室等となります。

次に、令和6年度増設移設整備分の内容を記載しております。

令和6年4月の学級編成に伴い、小学校7校9室、中学校2校4室、合計13室のうち、10室増設、3室の移設を実施するものでございます。

増設10室の内訳は普通教室2室、特別支援教室8室でございます。

整備につきましてはPFI事業者である松戸SAパートナーズ株式会社と令和6年4月12日に契約を締結し、できるだけ早い時期に実施する予定でございます。

なお、この整備予算につきましては、本契約予算とは別枠となりますが、PFI事業の当初予算の一部と執行するため、補正予算の必要はございません。

以上のことから、増設整備されます548室の維持管理費用の増額に伴う契約変更といたしました本議案をご審議いただくものでございます。

以上でございます。

教育長職務代理者 議案第7号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

中西委員。

中西委員 すみません。ちょっと単純に理解できてないんですが、頭の中で。

下のほうの参考の部分は、クラスが増えて教室が増えるんでというのは説明分かるんですけど、部屋数が増えて維持管理費用が増えるという、その今回の対象の部分ですが、これはつまり、もともと予定してたよりもたくさんの部屋を整備できるようになったという意味なのか。維持管理費用と言われると、電気代が上がってるとか、そういうことが関係するのかなとか、その辺の関係性がちょっと今のご説明だけだと、私の頭が悪いのかもしれませんが、理解できなかったので、もう少し丁寧に説明いただければと思います。

教育長職務代理者 学校施設課長、お願いいたします。

学校施設課長 まず、今回増設に伴いまして、548室増加ということで、昨年538室の特別教室、さらに今年度、10室の増加ということで、全部で548室が増加するといったことで、その設置するエアコンを、このPFI事業の中に組み込んで維持管理を一緒にしていただくと。こちら、PFI事業につきましては、15ページでございますように、事業期間が平成28年3月23日から令和11年3月31日までございますので、この令和11年3月31日まで維持管理を、全部で2,097に増えまして、2,097室を維持管理していただくことによって今回1億8,100万円増加するといったことになって。その組み込むための変更契約、維持管理分を組み込むための変更契約といったことになります。

この増設分に、先ほど参考にありましたこの増設分につきましては、令和5年度についてはもう既に設置していて、予算も執行済みです。令和6年度についても、もう契約していて、順次進めているといったところになります。

また、光熱費が維持管理に含まれるかということですが、維持管理費用はあくまでもフィルター交換ですとか、あとは修繕、突発的な修繕が起きた場合のメンテナンス契約といったところで、電気代など、光熱費は含まれていません。

以上でございます。

教育長職務代理者 私から、すみません。

私もすみません、分からなくて申し訳ないんですけど、最後の予算についてはPFI事業の令和6年度当初予算に含まれているため補正は不要というふうに書いてあるところが見込み予算としてある程度予算要求してて、それが10室増加分も含まれても変わらず維持できますというイメージで合ってますか。

学校施設課長、お願いいたします。

学校施設課長 毎年このくらいの変更分ということで、予算は確保してます。

教育長職務代理者 じゃあ見込み予算。

学校施設課長 はい、見込みで。あと、こちらの1億8,000万円増額についても昨年度来、もう増えるのを見込んでますので、予算は確保しているといったところになります。

教育長職務代理者 それが、現実的に確定したのがこの数ですよという報告という。

学校施設課長 はい。

教育長職務代理者 はい、ありがとうございます。

山形委員。

山形委員 今、15ページの事業期間について、今この説明資料を見ながら、私もこの議論に何度も参加していながら、平成28年から令和11年、先ほど10年間のメンテナンスというお話が10年間。

学校施設課長 13年。

山形委員 じゃあ認識間違いでした。ごめんなさい。失礼しました。

教育長職務代理者 ほか、大丈夫でしょうか。よろしいですか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 それではないので、これをもちまして質疑及び討論は終結といたします。

これより議案第7号を採決いたします。

議案第7号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第7号は原案どおり決定いたしました。

説明者が入れ替わります。

(説明員入替え)

◎その他

教育長職務代理者 それでは、会議冒頭に教育長がお諮りしましたとおり、議事日程を変更し、秘密会の前にその他に移ります。

それでは、事務局よりご報告。

教育政策研究課よりご報告お願いいたします。

教育政策研究課長 教育政策研究課でございます。

教育広報誌の名称募集についてです。議案書の一番後ろについてございます。こちらにつ

いてご説明させていただきます。

当課では昨年度より市民の皆様、特に児童・生徒及びその保護者を中心に、市内の10代から30代を主なターゲットとして教育への関心を持っていただき、理解を深めていただけるよう、教育委員会の情報を掲載する教育広報誌を発行しております。

令和5年度はこちらのような、このように4回発信をいたしました。こちらは広報誌の最初のページを印刷したものでございますが、発信の媒体は紙ではなくてLINEとかXなどのSNS、それから本市ホームページで行っております。

このたび、より多くの市民の方に教育広報誌を知っていただき、親しみをを持っていただくことを目的に、教育広報誌の名前を市内在住・在学の小中学生を対象に募集することといたしました。応募期間は5月31日までとなっております。

松戸市ホームページから応募専用フォームへアクセスし、オンラインでご応募いただきます。ご応募いただいた作品は教育委員会内に設置する選定委員会の審査により候補作品として5点に絞り込みます。その後、市民の皆様による投票で、得票数が一番多い作品1点を最終候補作品に決定いたします。投票は8月頃に応募と同様にオンラインで実施する予定でございます。その後、デザイン等を調整し、秋頃に決定する予定でございます。

多くの児童・生徒の皆さんにご応募いただきたいと考えまして、こちらのポスターとチラシを作成して市内小中学校に掲示していただいております。

報告は以上となります。

教育長職務代理者 中西委員。

中西委員 これ、この1枚のチラシというか、これは、もうウェブ上に出てるんですかね。

「大募集」と書いてあるんですが、そもそもこれがその小中学生向けに呼びかけているというのは、応募資格の小さい文字を見ない限り分からないというので、ちょっと違和感を覚えただけです。そもそもこれがどこで見られるのか、何でこの応募資格がこんな小さくなっているのか、ちょっとそこのところをご説明いただけますか。

教育長職務代理者 教育政策研究課長、お願いいたします。

教育政策研究課長 このチラシ自体は外にはあまり出ておりませんで、公立の小中学校と、私立の小中学校に郵送でお渡ししております。

あとは保護者の方にもご覧いただきたいと思っております、SNSのLINEで通知をいたしました。あとはXとかですね。それからホームページにも出ているんですけれども、その場合には、対象者のほうにつきましてはしっかりと読んでいただくようにということで、

注意書きを施してございます。

ただ、こちらの小さくなってしまった理由というのは、インパクトを強く、こちらに投票したいと考えていただきたいということを考えてこのような形になったんですけれども、もう少し大きくしたほうがよかったのかなというふうに、今考えております。

失礼いたしました。

中西委員 主に小中学生に配ることを、もう既に前提にしているから必要ないというか、小さくていいという判断なのかもしれませんが、これをいきなり見せられると、何でそうなのかなというのをどうしても疑問に思いましたので。

教育長職務代理者 山形委員。

山形委員 山形です。

今、ターゲットが10代から30代をということと、LINEとXでということだったんですけれども、現在Xはどのくらいフォロワー数があるとか、あとホームページとか、LINEの閲覧数の確認とかというのはされていらっしゃるかどうかという確認です。

教育長職務代理者 教育政策研究課長、お願いします。

教育政策研究課長 Xのフォロワー数については、これ独自のということができないので、市全体のになってしまいますので、ちょっとそこは把握をしてないんですけれども。X全体で6万弱だそうでございます。

さっきお見せしました広報誌につきましては、大体1,000件のアクセス数があったというふうに把握しております。

以上です。

山形委員 その辺りを、もしよければもっと分析していただきたいかなと思います。もし10代30代をターゲットとするならば、Xではなくインスタグラムのほうが強いかなとか、松戸市のという全体の中での、だと流れていってしまうので、できれば、もしXというのは、割とすぐ言葉に匿名性があって、炎上という言葉を使いますけれども、炎上しやすかったり、いろいろ難しい問題があったりとかするので、安心して見ていただくためにも、ある意味、一定数、紙媒体を準備するだとか、例えば10代-30代を狙うのであれば、市内大学とか高校だとかには紙媒体で送ったりだとか、もしくはQRコードを、もう学校内に貼ってもらうだとか、本当に子どもさんというか、10代-30代の人が、どうやったら見てくれるんだろうかというものをしないと、その1,000名見てくださっているのは松戸市じゃない人が見ている可能性も高かったり、関係者の感じなら1,000人はすぐだと思うんです。

その辺りをぜひ分析していただきたいなと思ったのと、今回、小学生の子どもの権利条約とか、子どもさんの意見をたくさん取り入れていただくのは本当にいいですし、この子たちが、またこの広報誌を読んでいただいたり、学校教育含め松戸の教育に意見をすることができるといふ機会もすごく大きいなと思いつながら、だんだん人が参加できるようなプロジェクトというものをつくり上げていただけたらなと思つます。その観点で、見る人の望むデザイン、ユニバーサルなデザインみたいな観点をお持ちになると、きっとまたいろんな部分が変わりますし、学校に貼つたとしても、子どもたちは、QRコードは学校では読めなかつたりするので、結果的には、それこそ白黒でもいいから配布をしていただいて、学校から帰つて家で親御さんが見て、何か賞とかもらえるよとか、何かそういう興味がある親御さんが数名ヒットしていただけたら、多分子どもたち、器用な子はできるかもしれないけれども、なかなかしづらい子とか、意見ができない子というのは難しいかもしれないです。もしくは中学校なんか部活動は、美術部があるとか、そういうような文科系の学生さんにもいいチャンスなのかもしれないなと思つるので、そういうところで、割と本当に誰に読んでほしいとか、誰にどうやったら届くかというのを、ぜひやっていただきたいなと思つます。

私はLINEに登録していて、LINEの中でも「教育」とか「子育て」ってチェックをしていないと届かない仕組みにはなつてはいるので、何かその部分も、多分分析はできると思つるので、ぜひお願いしたいと思つます。今回だったら、もし10代-30代だったら、「教育」にチェックはついていなくても10代-30代のターゲットにLINEを送れるようにしてもらつとか、そういうふうな発信もいいのかなと思つました。すみません、長くなつて。

以上です。

教育長職務代理者 どうぞ、和座委員。

和座委員 いいですか。

今と関係してくるんですけども。SNSも、とにかくInstagramとかフェイスブックとかXとか、あるいはLINEとか様々なものがあるんですけども、今、山形委員がおつしゃつたように、10代から20代、30代に限つては、Instagramは非常に多いというふう聞いていますので、もう少しその辺り、それぞれの職種の中で、LINEは比較的高齢の方が使つていることが多いですよね。ですから、そういうふうなことも分析しながら、一番ここに乗つかるような部分を見つけていただきながら、やっていただければいいのかなというふうにお思つます。

それから、もう一ついいですか。ごめんなさいね。

教育長職務代理者 はい。

和座委員 それからあと、僕、これはよく言うことですが、今回このアイデアを、広報誌の名前にしようという、これは非常にいい発想で、特に若者たちが、自分が主体的にいろんな企画に加わっていくということを考えたときに、この広報誌のところに何かいろいろな、例えば彼ら自身が、また何か、それについてインタラクションにいろんなことを言うてくる、それを、また取り上げるということもあっていいと思うし。関心を持つためにも、参加するというのを1つの大きなメインとして、こういうふうな企画を持ったということは、すごくいいことじゃないかと思いますので。ぜひこれは進めていただければというふうに思います。

以上です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。おっしゃるとおりで、参加するとすごく関心を持つというのが流れだと思うので。ここは募集の仕方のお話、今いろいろいただいたんですが、どちらかというと波田教育長にお願いして、校長会での流布、あるいは各校の校長先生たちのイニシアチブが、この広報に一番大きく関わるのかなと思います。政策研究課のほうは、こういうのどうだろうという提案のほうに多分、注力を置いてらっしゃると思うので、何か連携した、こういういいスタイルがどんどん生まれてくると、本当にありがたいなと思います。

以上です。

教育長 校長会では、教育政策研究課のほうから既に周知をさせていただき、校長先生方には一定のご理解をいただいている、と思います。

委員の皆さんからいろいろ課題指摘も含めていろいろご意見いただきましたので、それは今後、またこういったものを教育委員会として企画していくときに、ぜひ参考にさせていただきたいなと思います。とてもすてきな名前が報告されることを楽しみにしております。

教育長職務代理者 はい。ありがとうございます。

それではよろしいですか。

次、文化スポーツ部からのご報告、お願いいたします。

文化スポーツ部長、お願いします。

文化スポーツ部長 こんにちは。

私からは、松戸市文化スポーツ推進審議会条例の制定についてご説明させていただきます。文化スポーツ推進審議会条例につきましては、松戸市議会の6月定例会に条例として提案

するものでございます。

この4月の文化スポーツ部の組織の設置に伴い、昨年度は教育委員の皆様にも、本当に真摯なご議論とご意見をいただきました。この審議会につきましても、文化スポーツ政策について総合的に検討いただく会議体の設置というご意見を具現化するものでございます。

提案理由を簡単にご説明させていただきますが、本市に文化芸術及びスポーツの推進に関する重要事項を調査・審議する文化スポーツ推進審議会を設置するものでございます。

設置の根拠でございますが、市町村における文化芸術、そしてスポーツに関する審議会の設置につきましては、国の法による定めがございます。これら文化芸術基本法、それからスポーツ基本法を踏まえまして、本市においては一体的に審議をさせていただくものと考えてございます。

次に、所掌事務ということで、主なこの審議会のテーマとなるものでございますが、文化芸術基本法それからスポーツ基本法の、それぞれ37条と31条に記載がございます。文化芸術基本法の37条では、都道府県及び市町村に、地方文化芸術推進基本計画その他の文化芸術の推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関を置くことができる、となっております。スポーツ基本法につきましても同様に地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、審議会その他の合議制の機関を置くことができるとなっております。

これらを踏まえまして、文化芸術、そしてスポーツの政策についての現状の「施策の評価」や「今後の方向性」、また、文化芸術に関しましては、地方文化芸術推進基本計画と文化芸術の計画の策定を見据えて審議に諮ってまいりたいと考えてございます。

スポーツに関しては、現在、スポーツ推進計画がございますが、今後につきましては、施設の整備方針を検討してまいりたいと存じます。また、文化につきましても、今後の新たな文化政策の推進とともに、文化施設の整備等についても検討してまいりますので、文化やスポーツの施設についてもこちらの審議内容となっていくと考えてございます。

参考となりますが、現行スポーツ推進審議会が社会教育法に基づく団体への補助金の交付に当たっての意見を聴取する機関として定められておりますので、それを引き継いで、この新たな審議会でも補助金等の意見聴取をしていくということを定めているものでございます。

委員の数及び委員の範囲については、委員は15名以内と想定してございます。委員の範囲でございますが、記載のとおり、学識経験者をはじめ各スポーツや多様な文化芸術の関係の方、それから教育関係者等々を想定しておりまして、特に教育委員の皆様におかれましては、

その候補の中に、また入っていただくように検討をしているところでございますが、いずれにいたしましても条例の制定をもって人選、それからまたお願い等を、進めようとしているところでございますので、人選については今後というふうを考えてございます。

最後、その他になりますが、この条例の制定に伴いまして、現在、松戸市スポーツ推進審議会が設置されてございますが、そちらは廃止をさせていただきますして、新たな文化スポーツ推進審議会に統合するというようなことで考えてございます。

施行予定日は令和6年7月1日でございます。

以上でございます。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

何かご質問等ございますか。大丈夫ですか。

中西委員。

中西委員 中西です。

まだ決まってないことも多いと思うんですが、7月1日施行ということは、これ、第1回の会議は7月以降という前提だと思うんですけど。委員15人以内ということは、教育委員も、代表がということになるんでしょうかね。全員が入ったら、もうそれだけで、かなり占めてしまうので。

そういう場合、やっぱりこれは基本だと思うんですけど、原則公開でやる前提だと思いますし、あと審議会ってどうしても言いつ放し、国の審議会なんかもそうですけど、言いつ放しが多いので、これ、非常に大事な審議会だと思いますので、何か議論できるようなやり方を工夫していただけないかなと思います。

幾つか要望と質問と混じってますが。

教育長職務代理者 文化スポーツ部長、お願いします。

文化スポーツ部長 ありがとうございます。

まず教育委員さんの選任といいますか、こちらの審議会の人選につきましては、今、中西委員お見込みのとおり、全員お願いするということは想定しておりませんが、また、ご相談をしながらどういった方に、人選をお願いするかと考えてございます。

また、人選される教育委員の方は代表してということではなくて、と考えております。教育委員会は独立した行政機関でございます。こちらの代表者ということになりますと、教育委員会と審議会との役割が重なってしまう部分が出てきますので、形としては教育委員会の代表という形ではなく教育委員をされている個人のお立場でお願いしてまいりたいと存じま

す。ちょっと分かりづらくて恐縮でございますが、いずれにいたしましても教育関係者という立場での枠に入ってくるかなと思っております。

それから、ご要望のほうにつきましては、ご意見のとおり、私も非常に同感するところがございます。まずは現状の文化・芸術、それからスポーツの施策の状況を共有させていただいた上で、その上で本当に忌憚のない今後の松戸市の文化芸術施策、それからスポーツ施策についてのご議論いただけるような議案の提示の仕方、あるいはその審議の仕方ということを工夫してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

教育長職務代理者 ほか、ございますか。

和座委員。

和座委員 まず、こういった議論をするに当たって、このスポーツに関しては、やはりライフステージ全体にわたってのスポーツ・文化ということが重要だというふうな議論が前あったと思うんですね。つまり10代とか、子ども、学生、そういったもの、そしてまた若い世代、そして働き盛り、そしてまた高齢者。そういう中で、全体的に見ていく中で、スポーツについて言えば、競技というふうな在り方、それが小中学校を中心にして、今、結構それが中核になってたんだけど、そういうものだけではなくて、もっと健康だとか、人との触れ合いだとか、そういったクオリティ・オブ・ライフをしっかりと見据えながら議論していかないといけないという議論もあったと思うんです。

そういうことを考えたときに、やはりこの委員の中というのは、できるだけ幅広い年代の方に入っていていただいて、あまりその、政策決定というか、そういうふうなことだけにかなり重要な役割を持つての方だけでは絶対に駄目で、幅広い、本当にいろんな意見を持たれた人たちが入ってきていただければありがたいなというふうに思うんです。

ただ一つ、ちょっと、例えば10代の、そういった子どもたちも含めた声も僕は必要だと思うんですけども、その場合、これ、審議会の中のそのメンバーとして入るとなるとなかなか大変なので、そこら辺のその、子どもたちの意見をどういうふうにして具体的に引き上げていくかという仕掛けも、ぜひ、この審議会の中につくっていただければありがたいというのが僕の気持ちです。

そして先ほど言ったように、やはり健康だとか、それから人との輪とか、そういったコミュニケーションとか、そういったところが、やはりライフステージの肝みたいのところだとすれば、やはり医療関係の方たちにも入っていただきたいし、それからやっぱり子育てを含

めた様々な、その、人との輪をつくっていくようなことに様々な意見が言えるような方たちなんかも入っていただければ、より一層、充実した議論ができるのではないかなというふうに思います。

以上です。

教育長職務代理者 長く審議させていただいて、このような形で一応、案が上がってきて。これから、また少し煮詰めていくところもあると思いますが、今、和座委員がおっしゃってくださったのに、皆さん同じお気持ちだと思います。やはり立案をしていくことは、こちらの主立った組織がなさってくださることを、当然そうなっていますが、その一つ一つに対して関係のある事案に、どんな方をご意見の聴取としてご参集いただけるのか、どういう方にお声掛けして、いろんな意見を拾っていただけるのか、そういったところに注力していただきたいというご意見だったように拝聴いたしました。ぜひ、ご検討いただければと思います。よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 それでは、委員の皆様からは何か報告、よろしいですか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ありがとうございます。

◎報告第2号

教育長職務代理者 それではこれより、議案第8号「令和6年(ネ)第1709号損害賠償請求控訴事件に係る代理人の選任について」及び、報告第3号「臨時代理による処分の報告について」を議題といたします。

会議冒頭で教育長がお諮りしましたとおり議案第8号及び報告第3号の審議は秘密会となりますので、松戸市教育委員会会議規則第14条第2項及び松戸市教育委員会傍聴人規則第8条の規定により、ただいまから申し上げる職員以外の職員及び傍聴の方はご退席をお願いいたします。

お残りいただきますのは、生涯学習部長、学校教育部長、生涯学習部審議監、学校教育部審議監、教育総務課長、児童生徒課長、児童生徒課課長補佐、学務課長、学務課課長補佐、以上となります。そのほかの方は退席してください。

(関係職員以外の職員退席)

(以後、秘密会)

(関係職員等入室)

教育長職務代理者 ご報告いたします。

秘密会にて、議案第8号につきましては原案どおり決定いたしました。報告第3号につきましては承認されたことを報告いたします。

本日、予定していた議題は以上です。

それでは、議事進行を教育長にお戻しいたします。

教育長 皆さん、大変お疲れさまでございました。

それでは、次回の教育委員会会議の日程についてでございます。次回の教育委員会会議は、令和6年6月5日の水曜日、午前10時より、本教育委員会5階会議室にて開催してはいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 よろしいでしょうか。ありがとうございます。

では、ご異議ないようでございますので、今回は、令和6年6月定例教育委員会会議、6月5日水曜日、午前10時より、教育委員会5階会議室、本会議室にて開催をいたします。

◎閉 会

教育長 以上をもちまして、令和6年5月定例教育委員会会議を閉会といたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午前10時58分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会教育長

松戸市教育委員会委員